



ちば「炎の仲間」

発行
 公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
 https://www.chibalpg.or.jp
 毎月10日は保安の日

令和6年度 第3回理事会 開催！！

当協会では、去る12月12日(木)午後2時よりガス石油会館に於いて、令和6年度第3回理事会をWEB形式併用で開催しました。理事会は、秋元副会長の開会の辞で開会し、小倉会長の挨拶から始まり、県産業保安課小高主幹からご挨拶をいただき、議事に入りました。慎重審議され、君塚業務執行理事の閉会の辞により閉会されました。

議題1 執行理事(各委員会)報告について(報告事項)

定款第26条第7項の規定により担当執行理事から担当委員会報告を行いました。

議題2 放置及び流出LPガス容器処理要綱の改訂について(意見交換事項)

協会事務局には、災害時だけでなく、平時でも放置容器や流出容器の処理について、行政や一般の方から相談があります。

災害対策マニュアルに記載されている標記処理要綱は、災害時の内容となっており、平時における放置等LPガス容器の回収ルールが不十分であることから、平時の内容を含めた処理要綱に改訂が必要である為、意見交換を行いました。

議題3 令和7年度版周知パンフレットについて(報告事項)

令和7年度に販売する各種周知パンフレットについて、報告を行いました。なお、令和7年度分は事前注文を行わず、販売開始ができ次第、当協会ホームページ内にある協会ツール販売サイト(ビジネスサポートサイト)等で順次販売を開始していきます。

議題4 創立70周年記念式典の開催について(報告・依頼事項)

右記内容で創立70周年記念式典を開催することを報告しました。

議題5 委員会等報告事項について(報告事項)

総務委員会と保安委員会について報告しました。

| | |
|--------|--|
| 実施日 | 令和7年5月20日(火) |
| 会場 | オークラ千葉ホテル |
| スケジュール | ・定時社員総会(政連含む) ・創立70周年式典 ・記念講演 ・懇親パーティ(立食) |

令和6年度 第8回LPガス等合同防災訓練(中核充填所稼働訓練)実施!

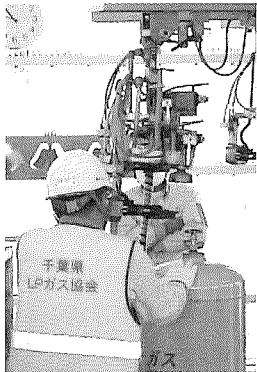
当協会中核充填所委員会及び船橋支部は、令和6年10月16日(水)「㈱アストモスガスセンター千葉 白井事業所」において「第8回LPガス等合同防災訓練(中核充填所稼働訓練)」を実施し、来賓として、公明党千葉県議会議員阿部俊昭様、千葉県防災危機管理部産業保安課、白井市総務部危機管理課、千葉市消防局予防部指導課保安係、並びに訓練参加者、見学者の方々が参加しました。

この訓練は、災害時等においてLPガスを安定的に供給するために、LPガス販売事業者と中核充填所が関係行政機関等との連携を図りながら、LPガス業界だけでなく近隣自治体等の地域を交えた災害対応訓練であり、今回は、白井市で大規模停電の発生を想定して、①中核充填所稼働訓練、②輸送訓練、③復興支援訓練、④応急救護訓練として、右記の内容を実施しました。

この訓練を継続して実施することにより、千葉県内のLPガス販売事業者と関係行政機関等との連携強化を図り、災害時にも迅速な対応ができる体制整備を行って参ります。

訓練参加者の皆様、本当にお疲れ様でした。

- ①中核充填所稼働訓練
例年実施している中核充填所に整備されている衛星携帯電話の通信訓練や非常用自家発電設備による稼働訓練を実施しました。
- ②輸送訓練
協会から応援要請を受けた4カ所の中核充填所の輸送車両に充填したLPガス容器を積込み、避難施設への輸送を想定して訓練会場内に避難施設を設け、FRP容器と最新の炊き出しセットを輸送しました。輸送した炊き出しセットの組み立てから供給開始時調査までは、船橋支部の皆様が実施しました。
- ③復興支援訓練
炊き出し訓練では、船橋支部の皆様を担当していただき、アルファ米とレトルトカレーを準備し、訓練に参加された方々へ配布しました。
- ④応急救護訓練
白井消防署の方々にご協力をいただき、参加者の方々にAED及び心肺蘇生法の体験をしていただきました。



【容器へ充填中!】



【容器の積み込みの様子】

業界最新情報は協会ホームページから!

お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室



日頃から液化石油ガス保安行政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。
県からの連絡事項は次のとおりです。

2024年の液化石油ガス事故情報(速報)について

1. 液化石油ガス一般消費者等の災害事故

県内で発生した液化石油ガスの災害事故は20件で、前年より10件増加しました。また、死傷者については、死者が0名、負傷者は2名でした。事故原因の内訳は、消費者不注意6件、設備不良3件、ガス事業者の不注意2件、他工事業者の不注意5件、不明3件、調査中1件であり、その事故の内容は以下のとおりです。

【消費者不注意】

- ・一般消費者のバルブ操作ミスによる漏えい火災事故
- ・一般消費者がLPガス配管に気が付かず損傷させたことによる漏えい事故(5件)

【設備不良】

- ・露出配管(消費配管)の腐食・劣化による漏えい火災事故
- ・燃焼器具の劣化による漏えい事故
- ・圧力調整弁の機器不良による漏えい事故

【ガス事業者の不注意】

- ・設備工事時の接続不良による漏えい事故
- ・設備工事時の接続不良による漏えい火災事故

【他工事業者の不注意】

- ・他工事業者がLPガス配管に気が付かず損傷させたことによる漏えい事故(5件)

【不明】

- ・何らかの原因でのガスメーターユニオン継手の折損による漏えい事故
- ・何らかの原因での燃焼器具異常着火による漏えい爆発事故
- ・何らかの原因での配管継手部接続不良による漏えい事故

各販売事業者におかれましては、引き続き、一般消費者等に対してガス使用時の注意事項の周知を行うとともに、供給設備点検・消費設備調査等による設備の管理を徹底するなど、従来以上に事故の未然防止に努めてくださいますようお願いいたします。

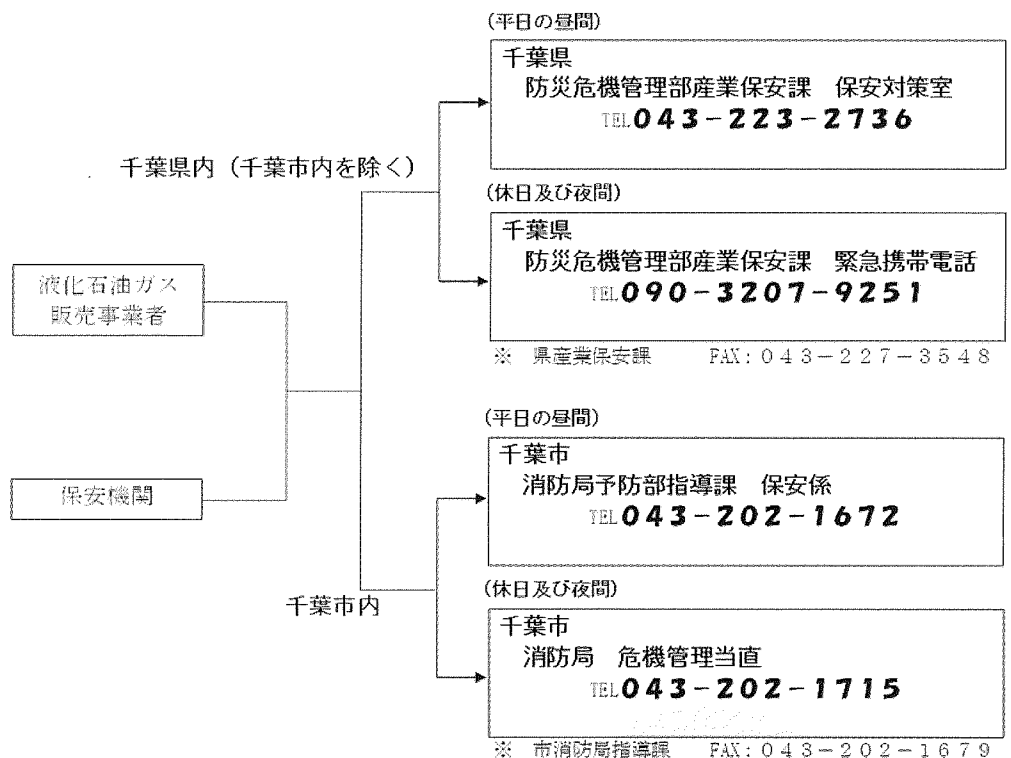
2. 液化石油ガス容器の喪失・盗難事故

県内での液化石油ガス容器の喪失・盗難事故は2件(盗難2)で、前年より3件減少しましたが、高圧ホースを切断して持ち去るなど、悪質な案件が発生しています。販売店・保安機関におかれましては、空き家の容器は速やかに撤去することや、引き続きの巡回強化、顧客への注意喚起等の対策をお願いします。

3. 事故発生時の通報系統について

事故発生から数日後、あるいは復旧・終息してから県に通報する事例が散見されます。事故が発生した場合は、速やかに必要な措置を取り、被害の拡大防止に努めるとともに、規模の大小や夜間休日を問わず、災害発生時の通報系統に従い、直ちに県産業保安課又は千葉市消防局へ電話等により通報するようお願いいたします。

また、液化石油ガス販売事業者は、当該事故が特定消費設備に係る事故の場合、関東東北産業保安監督部保安課(Tel 048-600-0418)へも直ちに通報してください。



令和6年度 千葉県高压ガス輸送車等防災訓練 実施！！

去る令和6年11月20日(水)、午後1時より、松戸市消防訓練センター(松戸市八ヶ崎4丁目50番地の2)に於いて、令和6年度高压ガス輸送車等防災訓練が実施されました。

この訓練は、千葉県及び千葉県高压ガス地域防災協議会の主催で実施され、千葉県防災危機管理部長を本部長とし、各関係機関、関係団体及び事業所が参加しました。訓練では、高压ガス輸送車の移動中における事故等を想定した内容で実施されました。

当協会では、松戸支部の有限会社東屋商店様、有限会社吉野屋商店様、ENEOSグローブエナジー株式会社京葉支店様、有限会社小高商店様の皆様にご協力を頂き、「LPガス・カートリッジ缶等の破裂燃焼実験」に参加しました。

【松戸支部の皆様、お疲れ様でした！！】



当日は、あいにくの天気となってしまいましたが、着火等無事に行うことができ、破裂燃焼時の爆発音等を体験した見学者にとっては、カートリッジ缶などの取扱を間違えると大変危険なものだと体験できる実験となりました。松戸支部の皆様、ご協力ありがとうございました。



【カートリッジ缶の破裂により、LPガスはこのように燃え広がります】

カセットボンベの処理について
 ご不明の点がございましたらこちらへ！！
 「カセットボンベお客様センター」
 TEL：0120-14-9996

青年委員会 石川県研修レポート 「研修旅行を終えて」 ミライフ(株) 吉田直矢

2024年を迎えた元日の16時10分に起きた「能登半島地震」は最大震度7を記録し、マグニチュード7.6を観測しました。この地震による被害は甚大で、近年まれにみる災害となったことは記憶に新しいと思います。

青年委員会では、2024年10月6日～7日にかけての2日間、委員、OB、事務局含め計13人にて石川県を訪問しました。同年9月に発生した能登半島豪雨の影響により、能登半島エリアの視察は中止となりましたが、意見交換会での石川県民の方々の生の声は、報道ではわからない気づきの連続でした。

地震発生時は厳寒であり、暖を取る為や炊き出しを行うにはLPガスの供給が必要不可欠でしたが、能登町をはじめとした多くの市町村では道路損壊の為当初は対応ができなかったとの事です。通信障害で電話やメール、LPWA回線もつながらず、被災状況の把握は困難を極めました。そんな中、情報共有の要となったのは、やはり人とのつながりでした。能登には、互いのことを思いやり支えあう、人のつながりがあります。昔から、能登の人々の温かい人情は、「能登はやさしや土までも」と表現されてきました。収穫した野菜や獲れた魚を近所の人にお裾分けしたり、旅行者に声をかけて食事を振る舞ったりする光景が日常的に見られ、人にお裾分けし、またある時には人からお裾分けをもらう「おたがいさま」の関係が、日々の暮らしに息づいているとの事です。こういったつながりは、千葉にも同様に存在し、そして何より人・地域とのつながりを大事にしているのが、LPガスの事業者であると私は考えています。災害時の供給安定性はLPガスの大きな強みですが、その根底にある支えあいの精神を再認識

いたしました。

現在は被災地では仮設住宅の建築も進んでおり、復興に向けた兆しもようやく見え始めています。そんな中で印象的だったのは、被災者の前向きな姿です。単に被災前の姿に復元するだけではなく、未来志向に立って以前よりも良い状態へと持っていくという「創造的復興」。その先頭で復興を支えているLPガス事業者の姿がそこにありました。

近年は大規模な自然災害が多く発生し、特に阪神淡路大震災以降は地震、豪雨、豪雪、猛暑、台風、噴火などが、人的被害、住宅被害に直接結びつき、日常のあたりまえが目の前から突如として消えてしまう甚大な災害となっております。

私たちはエネルギー供給の「最後の砦」であるLPガスを扱う事業者として、全国2,200万世帯へLPガスをお届けしていくことが責務です。事業継続計画の適宜見直しや想定されるリスクを各方面と共有し、自然災害時も地域の住民を守れる事業者として取り組んでいきたいと思います。



【鼓門の下で青年委員会・OB集合！！】

「松戸市総合防災訓練に参加して」

松戸支部 鈴木 誠 支部長

昨年11月、松戸市内全域に於いて松戸市総合防災訓練が実施されました。消防訓練センターでは消防、自衛隊、警察等による「救出救助訓練」が行われ、市立松戸高等学校では、市民の方が楽しみつつ、防災の展示体験ができる「防災フェア」が開催されました。当支部では、後者の防災フェアに参加して、市民の皆様が災害時におけるLPガスの有用性や利便性をアピールしてきました。

具体的には、LPガスの小型発電機を実際に作動させバルーンライトを点灯させました。停電時の電力確保がLPガスで簡単に出来る事を目の当たりにして驚かれる市民の方や、何処で購入出来るかと、お問い合わせ頂く方も数多くいらっしゃいました。

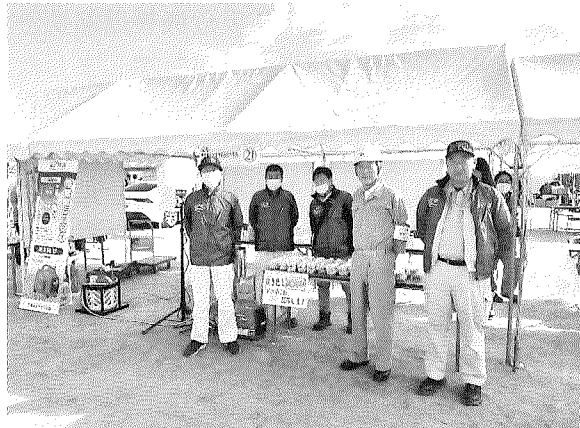
また、災害時に避難所にて提供される非常食アルファ米の提供を行いました。LPガスでお湯を沸かして、アルファ米調理を実演したのですが、一時、大行列になり、思った以上に反応が良

く、約500食を提供する事が出来ました。LPガスの周知は十分出来たと思いますが、それ以上に参加した会員の皆さんと一緒に、一つの事に力を合わせて取り組む事により、改めて結束力を確認する事が出来ました。

また、松戸支部会員間で今回の商慣行是正に向けた制度改正の趣旨にのっとり、顧客の業者間移動について紳士協定を策定しました。①特定商取引法を遵守し、過度な営業活動は自粛する。

②今回の制度改正により過大な営業行為の制限にあたる、不透明な安値勧誘活動はしない。

会員の皆様も、LPガス業界の健全な発展の為、力を合わせ努力していきましょう。



【松戸市長（茶色作業服着用）と支部の皆様】

九都県市合同防災訓練・防災フェアに参加！

第45回九都県市合同防災訓練（千葉県会場）が、10月20日(日)、いすみ市の大原中学校などで実施されました。

本訓練は、県や市、各防災機関が連携した救出救助や、避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の心得などを啓発する場を設け、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域の防災力を向上することを目的とするものです。参加機関は約100機関、参加人数は約3000人が実施しました。

今回の訓練想定は、千葉県東方沖を震源とする地震が発生し、いすみ市では震度6強を観測し、この地震により、津波警報が発表され、沿岸地域の住民は避難を余儀なくされました。その後、津波の襲来により、市内は多数の建物倒壊や道路損壊等の交通障害が発生し、自助・共助・公助による懸命な災害対応が行われるように実施しました。

当協会は、防災フェアの防災啓発ブースに当協会の長夷支部が参加し、自然災害対策などの各種啓発チラシを配布し、消費者にLPガスの災害対策や安全性を説明するとともに、FRP容器と鋼製容器の持ち比べ体験、LPガス発電機や炊き出しステーションの実機を紹介し、災害に強いLPガスを説明しました。

また、お子様の来場者も多く、FRP容器の軽さをお子様も体感してもらい、景品として「カトレンジャーZ」のシールを配布しました。

この訓練（防災フェア）に参加することにより、住民、自治体、防災関係機関等へLPガスの特性等を理解していただき、今後も関係機関との連携協力体制の強化を図っていきます。

長夷支部の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。



【長夷支部の皆様、お疲れ様でした！！】

今、世の中はデジタル化に向けて急加速しております。IT関連で起業した会社も多く、各社その技術を競い合っており、自動運転の車も日進月歩で進化しています。アメリカや中国では既に、完全自動運転の無人車両が実証実験で、実際に街中を走行しております。

最近では生成AIが話題になっておりますが、先日あるベンチャー企業の発表会見がありました。壇上には役員数名が座っており、その上のモニターに役員が映っていて、会見をしていました。しかし、座っている本人たちは黙っていて何か違和感があると思ったら、生成AI

が発表をしていたのです。本人に代わって会見を開いているのを見て驚きました。人口減少や働き方改革で、本人の代わりに仕事をしてもらおうとの事です。これにロボットが合わされば、まさにドラえもんのコピーロボットが誕生します。アニメの世界が実現する日も、そう遠くなさそうです。

一方私はアナログ人間で、朝は調整池を見ながら犬の散歩をしています。冬場には白鳥が飛来し、渡り鳥を見るのも楽しみです。通勤電車では紙の本を読んでおります。元々は読書嫌いでしたが、5年程前から転勤を機に電車通勤になり、読書を始めてから今も続けております。今の職場は墨田区にあり、スカイツリーを真正面に見てから会社の門をくぐり、帰りにはライトア

ップを見ながら帰ります。こんな、のんびりとした毎日を繰り返していますが、退屈なのか幸せなのかは分かりません。

人生100歳時代、私は日頃から不摂生しているので全く自信はありませんが、その頃にはコピーロボットが仕事をして、自動運転のドローンが目的地に連れて行ってくれる。またコピーロボットに介護をしてもらって、最後は看取ってもらい墓守もする。そんな時代が来るのでしょうか。見たい気持ちもありますが、懸念も多くあります。私は今の世の中が、もっともっとゆっくりと時が流れてくれると良いなあと思う今日この頃です。

泉水 栄二 記

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！